

強く豊かな市民社会の「良循環」をつくりだす
「エクセレントNPO」をめざそう市民会議
記者会見発表資料

強く豊かな市民社会の「良循環」をつくりだす
「エクセレントNPO」をめざそう市民会議
運営準備委員会

1.「市民会議」の目的と目標

(1)「目的:goal」

- 市民と民間非営利組織との間に参加によるつながりを構築することで、強く豊かな市民社会づくりに寄与することをめざす。そのため、望ましい非営利組織の姿を明らかにして、市民と非営利組織の間に参加の良循環を作り上げる。

注)エクセレントNPO:NPOは民間非営利組織の総称として用いている。

(2)「中期目標:long term objectives」

- エクセレントNPOの概念を明示のかたちで示すこと
- エクセレントNPOの必要性について問題提起し、その認識を市民社会に広げること
- エクセレントNPOを目指す動きを非営利の世界に作り上げると共に、市民が非営利活動への参加を考える際の判断材料を提供する

2.活動の全体像

【目標：活動の具体目標 (purpose)】

- エクセレントNPOを目指す動きを作り、市民に対してはそれが見える形にする。

①運動化

- 「宣言団体」
 - ・宣言団体の募集、確定
 - ・宣言団体の第三者チェック
 - ・賛同者の募集

②見える化

- 「エクセレントNPO認証」
 - ・エクセレントNPOの認証
 - ・宣言団体からの申請
 - ・審査委員会による認証

③社会化

- 「表彰式」
 - ・認証および表彰のための大会 (メディアと連携)
 - ・①から③の公開

3. 活動の流れ

エクセレントNPOをめざす市民会議

非営利組織

① 運動化
エクセレントNPOを目指す宣言

↓ 幹事会による第三者チェック(評価基準10項目)

エクセレントNPO
宣言団体として認証

③ 社会化
② 見える化
「エクセレントNPO」へ申請

↓ 審査委員会によるチェック(評価基準36項目)

エクセレントNPO
認証

表彰・
記者会見

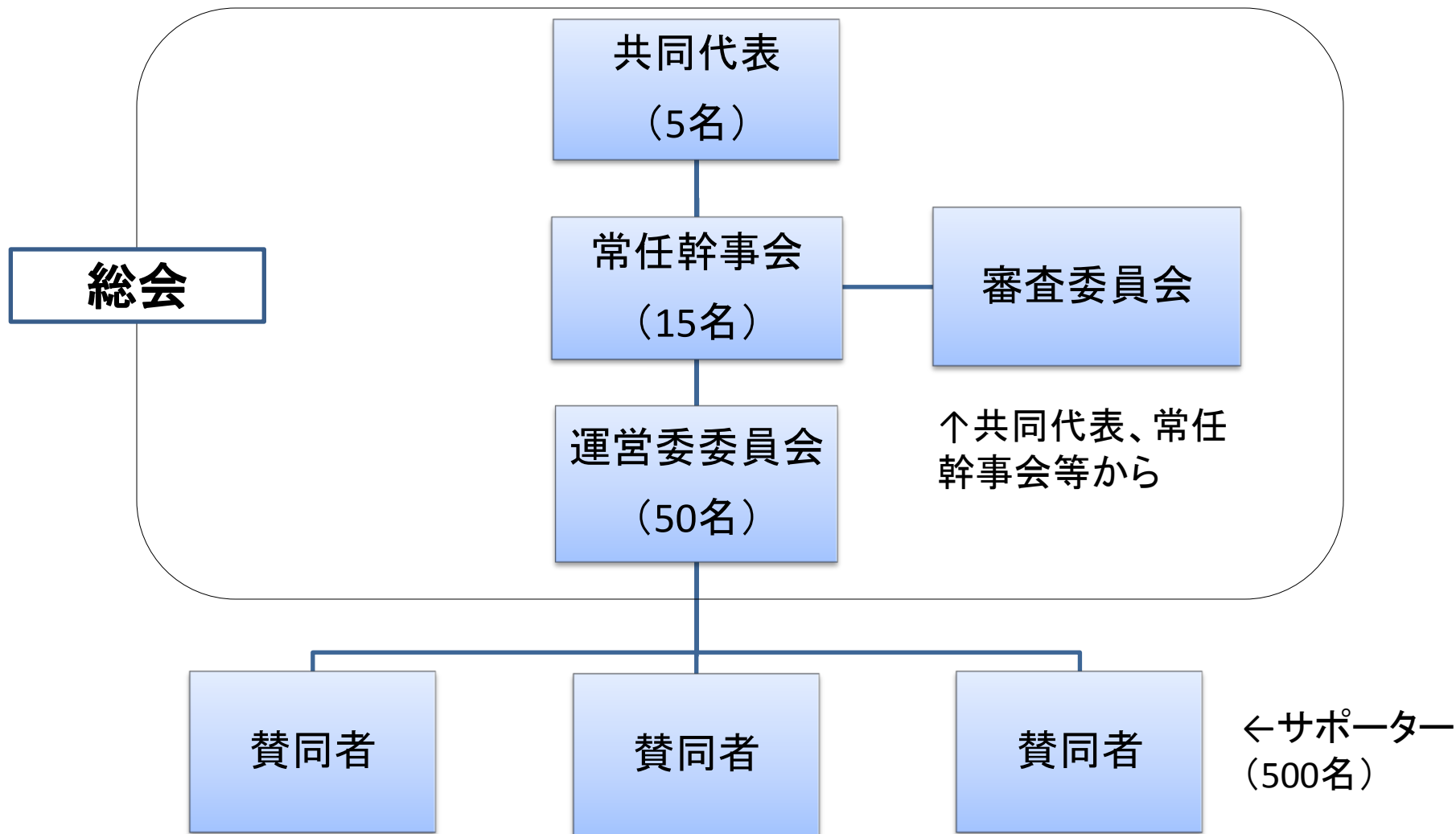
プロセスを
公開

市民

市民社会を強くする「良循環」をつくりだす

4. 体制

(1) 組織体制



4. 体制

(2) 幹事会の役割(市民会議の中核機能)

- 宣言団体の募集
- 宣言団体の第3者チェック
- 啓発・普及(セミナー開催)
- 審査委員会のフォロー
(評価、基準の見直し、調査、研究)
- 市民向け活動
- 広報
- 事務局

5. 評価基準について 評価基準と自己チェック項目

「エクセレントNPO」の認証時に使用する項目

- 36基準を満たしていることを審査(審査委員会)
- 審査項目として“自己チェック項目”を活用

「エクセレントNPO」宣言団体の検証時に使用する項目

- 36基準の中から体系を崩さぬよう10基準を抽出
- 第三者検証のため“自己チェック項目”を活用

自己経営診断ツールとして使用する項目

- “自己チェック項目”を簡素化・軽量化し、活用しやすいものにして非営利組織向けに提示

6. スケジュール

6月9日(水): 記者会見



①組織発足準備

②自己診断ツールの完成

7月: 組織発足発表、ならびに宣言団体の第一次募集
(記者会見)



9月: エクセレントNPO認証の申請開始



12月: 表彰大会